

この防災マップの裏面に示す浸水実績は、平成26年および令和3年などの豪雨や台風により浸水した範囲で、高知県が把握している情報を基に整理したものです。そのため、浸水実績の範囲外は浸水したことがない、ということではありません。
過去の浸水実績や土砂災害のおそれがある区域を知っていただくことにより、緊急時の水防活動や避難等に役立ててください。なお、各災害の想定範囲外であっても、安全というわけではありません。命を守るための最善の行動をお願いします。

土砂災害警戒情報とは

土砂災害警戒情報は、大雨警報の発表中に、土砂災害発生の危険度が高まったとき、高知県と高知地方気象台が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒してください。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、早めに避難行動をとってください。

土砂災害から身を守るポイント

- ① 住んでいる場所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認してください。
- ② 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意してください。
- ③ 危険を感じたら早めに避難してください。



警戒レベルと避難情報

令和3年5月から、とるべき行動を明確にする形で避難情報の種類が変更されました。警戒レベル4の避難指示が発令されたら、すぐに危険な場所から避難してください。

警戒レベル (四万十町発令)	避難情報	状況	とるべき行動
5	緊急安全確保*	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保! ●命を守るため、自宅や近隣の建物で緊急的に安全確保してください。
警戒レベル4までに必ず避難!			
4	避難指示	災害の おそれ高い	危険な場所から全員避難 ●危険な場所から全員避難してください。 ●屋内で安全確保できると自ら判断できる場合は重畳避難も可能です。
3	高齢者等避難	災害の おそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ●高齢者等の避難に時間を要する人やその支援者は避難してください。 ●高齢者等以外の人も、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表)	気象状況悪化	自らの避難行動を確認 ●ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。 ●災害想定区域、避難場所や経路、避難のタイミングを確認してください。
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める ●最新の防災気象情報などを確認しましょう。

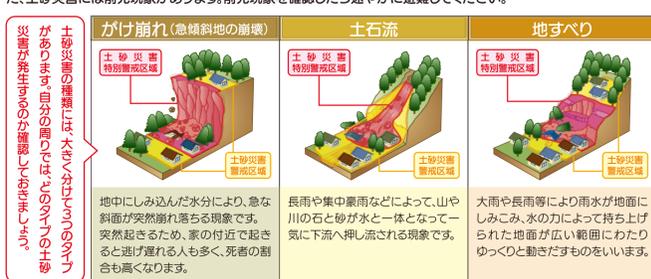
*災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5の緊急安全確保は必ず発令されるものではありません。

情報の伝達



土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難してください。



土砂災害の種類は、大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難してください。

こんなときは要注意 土砂災害の前兆(前兆現象)

五感	移動主体	がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり
視	山・斜面、がけ	●がけに割れ目が見える。 ●がけから小石がバラバラと落ちる。 ●斜面がはらみだす(はらみみだす)。	●渓流付近の斜面が崩れた。 ●落石が生じる。	●地面にひび割れができる。 ●地面の一部が落ち込んだり盛り上がりたりする。
	水	●表面流が生じる。 ●がけから水が噴き出す。 ●湧水が湧きだす。	●川の水位が異常に高くなる。 ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 ●土砂の流出。	●沢や井戸の水が高くなる。 ●斜面から水が噴き出す。 ●池や沼の水が急激に増える。
覚	樹木	●樹木が傾く。	●濁水に流木が漂い出す。	●樹木が傾く。
	その他		●渓流内の火花。	●家や擁壁に亀裂が入る。 ●擁壁や電柱が傾く。
音		●樹木の根が切れる音がある。 ●樹木の揺れる音がある。 ●地鳴りがする。	●地鳴りがする。 ●山鳴りがする。 ●転石がぶつかり合う音。	●樹木の根が切れる音がある。
	におい		●腐った土のにおいがする。	

*上記は一般的な前兆です。すべての場所において必ず起きるというわけではありません。

インターネットによる防災情報の入手先

四万十町の避難所や雨量・河川水位等の情報は、パソコンや携帯電話を使って、インターネットからも確認することができます。

- 四万十町役場 <http://www.town.shimanto.lg.jp/>
- 気象庁 <http://www.jma.go.jp/>
- 高知県 水防観測情報 <https://subo-kouho.subou.bousai.pref.kochi.lg.jp/>
- 四万十町 河川監視カメラ <http://kasen.midwest-kochi.jp/shimanto/>
- 四万十町公式LINE LINEの友達追加画面→検索機能(ID検索)からは「shimanto_town」で検索
- 高知県防災アプリ <https://kochiap.dmacs.jp/data/html/install/index.html>
- Web版ハザードマップ <https://www.town.shimanto.lg.jp/life/detail.php?mKey=4486>

施設等凡例

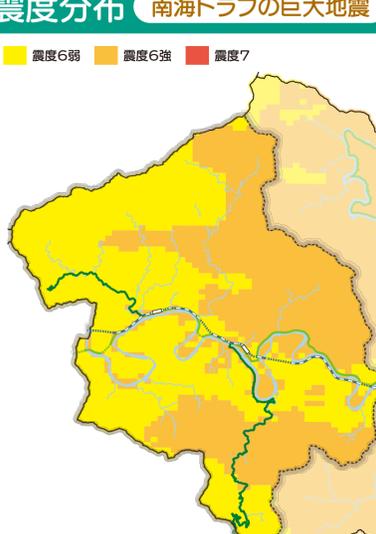
- 二次避難所
- 福祉避難所
- 役場
- 警察・駐在所
- 消防・消防団
- 医療救護施設
- ヘリポート
- 水位観測所
- 雨量観測所
- 高速道路
- 国道
- 主な道路
- 鉄道

土砂災害(特別)警戒区域

- 急傾斜地の崩壊 警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 地すべり 警戒区域

南海トラフ地震臨時情報

「南海トラフ地震臨時情報」とは、南海トラフにおいて地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された際に気象庁から発表される情報です。
「調査中」、「巨大地震警戒」、「巨大地震注意」などの「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合には、事前避難などの防災対応をお願いすることがあります。



一次避難所

自主防災組織や地域住民が管理運営する避難所で、災害時の危険を回避するために一時的に避難できる地区集会所等。

二次避難所

小・中学校体育館を基本とした、長期の避難生活に対応できる施設。※地域によっては一次避難所と二次避難所が同一施設となる場合がある。

福祉避難所

障がい等により通常の二次避難所では生活できない方のための施設。状況により開設するため、まずは二次避難所への避難が原則。

震度6弱	震度6強	震度7
<p>●立てることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</p>	<p>●はわなと動くことができない。飛ばされるものもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多い。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多い。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。</p>	<p>●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多い。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多い。</p>

災害から身を守る行動パターン

風水害時	地震時
町から避難情報が発表 周囲で災害が発生するおそれがある状況	大きな地震が発生! または、津波警報等が発表!
以下の場所などに、早めに避難してください。 ▶町が開設する二次避難所 ▶安全な場所に友人・知人や親戚宅など ▶避難所が開設されている場合など、避難することが危険な場合は、自宅の2階以上など少しでも安全な場所に避難してください。	沿岸部 指定緊急避難場所へ避難 台地部 二次避難所へ避難 その他 周囲の安全を確保 ●津波のおそれなくなったことが発表されるまでは、高い場所を避難を継続してください。 ●車での避難は控えましょう。
状況により二次避難所・福祉避難所が開設されますので、開設や運営の手助けをお願いします。 ●自宅に傾けなくなったら、二次避難所で避難生活が可能になります。 ※区・自主防災組織・民生委員等による安全確認の協力をお願いします。	